

Apogee ReadMe

Symphony 32 Update – September 2009

本ドキュメントでは、「Symphony 32 Update September 2009」のアップデート手順について説明しています。

アップデート対象の方

全ての Symphony 32 ユーザーの方へ、本アップデートをお勧めします。

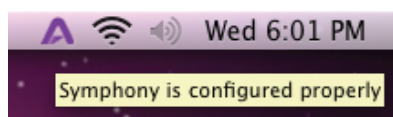
要件

- X-Symphony カード ファームウェア 2.7 以上
- Intel Mac (1.83GHz 以上)、OS X 10.5.8 がインストールされた PPC G5 Mac
- 最低 1GB RAM、2GB 以上推奨
- OS X 10.5.8 Leopard もしくは OS X 10.6 Snow Leopard

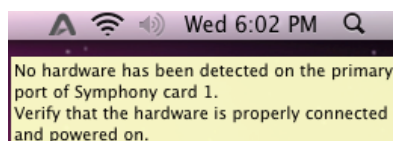
新機能

- Maestro ソフトウェアが、同一バージョンに統合
- OS X 10.6 Snow Leopard に対応
- Mac のメニューバーに、システムステータスメッセージが表示されます。

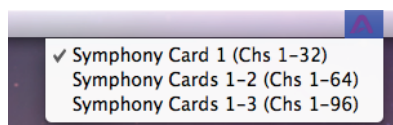
Symphony システムが正しく設定されると、「A」アイコンが紫色に光ります。カーソルポインタを「A」の上に置くと、ツールチップにて正しい設定を確認出来ます。



Symphony システムが誤って設定されると、「A」アイコンが黒色に変わります。カーソルポインタを「A」の上に置くと、ツールチップにて診断メッセージが表示されます。



Symphony ソースは、システムステータスアイコンをクリックし、希望するセッティングを選択する事で設定可能です。

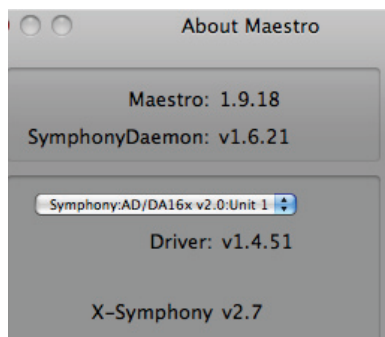


Apogee ReadMe

Symphony 32 Update – September 2009

インストール方法

1. <http://support.apogeedigital.com/index.php/symphony-32/downloads> から、「Symphony 32 Update September 2009」をダウンロードします。
2. 「Symphony 32 Software Installer」アイコンをダブルクリックして、画面の指示に従いインストールを進めます。
3. Symphony MobileもしくはX-Symphonyファームウェアのアップデートが必要な場合は、Macの再起動時にワーニングメッセージが表示されます。ファームウェアアップデートは、以下のページよりダウンロード可能です。
<http://support.apogeedigital.com>
4. ファームウェアアップデートの指示に従ってください。X-Symphonyのファームウェアアップデート完了後、ソフトウェア及びファームウェアバージョンの確認を行ってください。バージョン確認は、システムを接続後、Maestroを開き、Maestro>About Maestroの順に選択します。正しいバージョンは、以下の内容です。



未解決の問題 (2009年9月現在)

- Rosetta 800 4台をSymphony 32に接続し、サンプルレート192kHzでランすると、システム設定が不安定になります。次善策としては、サンプルレートを下げるか、AD-16X 2台、DA-16X 2台の使用をお勧めします。
- Euphonixのコントロールサーフェイスを接続時に、フェーダ 1がMaestroソフトウェアと通信しません。次善策として、Maestroソフトウェアからフェーダ 1を設定してください。